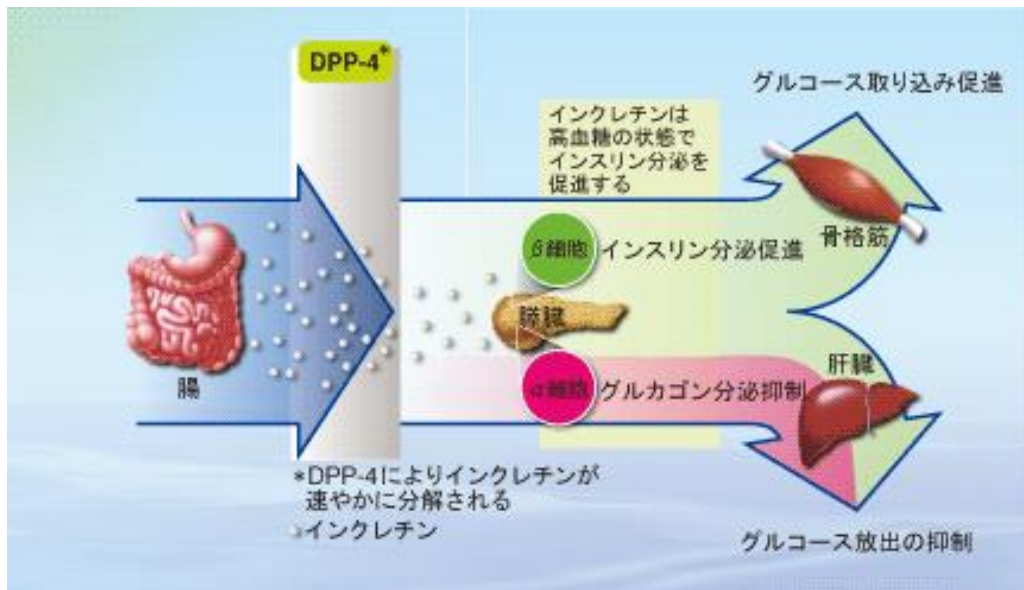


## 薬剤部DI ニュース

## DPP-4阻害薬について

2型糖尿病薬に対する新たな治療薬として**インクレチン**とよばれる消化管ホルモンが注目されています。インクレチンとは、食事摂取に伴い消化管から分泌され膵臓β細胞に作用してインスリン分泌を促進するホルモンの総称で、血糖依存的に作用するため、低血糖のリスクが低く安全に高血糖を是正することが可能とされています。インクレチンによる血糖調節の図を下に示します。



しかし、インクレチンの一部は血中に存在するジペプチジルペプチダーゼ (DPP-4)という酵素によって分解されます。2型糖尿病患者においては健常人と比べ、インクレチン作用の低下が認められており、また、インスリン分泌の多くはインクレチンに寄与しているという報告があります。そこで、インクレチンの臨床応用を目的に**インクレチン不活化を改善することでインスリン分泌を増強する**という点に着目して作られた薬が**DPP-4阻害薬**です。現在成分で分類すると3種類販売されており、各々の薬の主な特徴について表にまとめました。

# 各種DPP-4阻害薬の比較

2011/6/17現在

商品名		ジャヌビア(MSD) グラクティブ(小野)	ネシーナ (武田)	エクア (NOVARTIS)
一般名		シタグリプチン	アログリプチン	ビルダグリプチン
用法・用量		50mgを1日1回 効果不十分な場合 100mgを1日1回ま で増量	25mgを1日1回	50mgを1日2回 朝・夕 患者の状況に応じ て50mgを1日1回 朝
薬価		25mg 96.1円	6.25mg 60.2円	50mg 104.7円
		50mg 179.3円	12.5mg 112.2円	
		100mg 269.0円	25mg 209.4円	
併用可能 糖尿病薬	単剤	○	○	○
	α-GI	○	○	×
	SU剤	○	○	○
	チアゾリジン系 薬剤	○	○	×
	ビグアナイド系 薬剤	○	○	×
	速効性インスリン 分泌促進薬	×	×	×
	インスリン注射	×	×	×
腎機能障害	重度	× 禁忌 **	△慎重投与	△慎重投与
	中度	△慎重投与	△慎重投与	△慎重投与
肝機能障害	重度	○(記載なし)	○(記載なし)	× 禁忌
	中度	○(記載なし)	○(記載なし)	△慎重投与 **3ヶ月ごとに肝機 能検査を行うこと
心不全		○(記載なし)	△慎重投与	△慎重投与
半減期(hr)		11.4±2.4	17.1±2.0	1.77±0.23
DPP-4阻害率		50mg12hr後で80% 以上 100mg24hr後で 80%以上	25mg24hr後で 80.65%以上	50mg12hr後で 74.4%以上 50mg24hr後で 4.54%以上

\*\*透析患者を含む

当院採用薬はジャヌビアです。